



おはよう

「ソニーちゃん！  
ちよっとうつきなめぐら〜」  
「ソニーちゃんさ〜」

「絶対に嫌だ」



「ええ〜っ? フキペろろが嫌な人なんて、  
聞いたことないよ? すっごく気持ち悪い!」

「フキペろろがそんなにメジャーだと思ってる方が  
普通じゃないぞ。フキなんかそんな気持ちいい  
ところじゃないだろう!」





びびっ

ふーっ

「なあ〜んだった♡」



「ソーニャちゃん、

「くすぐったがり」だから

「フキペろが嫌なだけじゃないの〜?」



「んなっ!?!」

「ん、んなっ、んなっ、んなっ、んなっ!?!」



「え〜?」  
「ほんとかかなあ」  
「♡」



「ああんっ?」

「じゃあ、証拠を見せりゃいいんだろ?」  
好きなだけくすぐってみろよ!

「うっきー♡」

「だってソニーちゃん、靴下脱いでよ♡」  
ペロペロもこちよこちよもしてあげるから♡♡



「ほら！「うれでいいだろ！」  
やるなら！さっさとやれ！」

「やったー♡」

ソニーちゃんの裸足♡生足♡  
ちよっただけおパニツもちらちら見えてる♡





「ごきあまがは、軽〜か〜」



「たんっくっ……たいしたくないじゃねーか……」

（もう既にプルプルしてるゾーニヤちゃんかわいい♡）

「ソニーニヤちゃん足の裏って

エツチだよね♡

厚手の靴下履いてるからちよっと蒸れてる♡♡」

ぷんぷん



「気持ち悪いこと言うなよ。」

足の裏なめる奴なんて、

世界中探しても変態しかいないだろ」

「じゃあ、」

足の指をちゅぱちゅぱ吸うのは大変態?♡」



「変態に大も小もあるかよ...」



「変態でもいいもん♥  
ソニーニヤちゃんのを蒸れ蒸れ足裏を  
ペろペろでできるんだっ♡  
たら♡」

「くう、ん♥  
へんた、変態！  
あははははははははははは  
あははははははははははは  
ちよ、んな、ペろペろっ♡  
あははははははははははは

「♡な♡」



「ん？♡  
足裏ぺろぺろも  
足指フエうもダメなの？♡」

「ダメじゃないが、  
私がかくすぐったいわけじゃないが、  
ん♡舌の動きが、その…♡」

ちゅぱ  
ちゅぱ



「ん〜〜〜」

じゃあ、さ、うちよ、うちよ、すねね♥

ぺろぺろ、じゃなくして、

ぺろ♡♡♡いだったらいいよな?♡♡♡

ぷるる

「んぶっ♡♡♡  
ふざけん♡♡♡バカ!  
こちよこちよ♡♡♡一緒に♡♡♡  
一緒に♡♡♡意味ないだろ♡♡♡」



「え〜〜〜?」

「ちよ〜プ〜面をしちゃダメなの?」

「ちよ〜♡♡♡ん♡♡♡」

あははははははは♡♡♡

あははははは♡♡♡あ♡♡♡ん♡♡♡

ふ〜♡♡♡あははははは♡♡♡」



「……ねっ?♡」

ソニーちゃん、

くちゅっ たがりだっ たでっ ーん。」

「はっ?」

はー♡

はー♡

やすなのくちゅっらっらっでっ  
そんな感じたりするわけないだろっ!♡





「疑うんだったら、  
続きをやってみろよ♡  
耳でも脇腹でも、  
くすぐってみればいいだろ♡」

「疑うも何も、  
さっきあれだけ大爆笑して……」

「ああっ!!!!」

「ソニーちゃん!!!!」

「お股が濡れてる!!!!」



「濡れてるわけねーだろ！  
くすぐらわれて感じてるわけじゃないんだから！  
これは、きつと…おしっこ漏らしただけだ！」

「くすぐらわれておしっこ漏らす方が  
もっとタイヘンだよ！？」  
「ソニーちゃん！？」



「いいから、さっさとやれよ  
くすぐられて性的に気持ちよくなって  
パニツツが湿ったりなんかしてないんだからな！」

「あれ？ちよっど『へっすべり』好きになっどん？  
これ、もっとエッチなへっすべり方をしても  
許してもらえん？(♡)？」



「じゃあソーニャちゃん♡  
お耳さわるね♡」

「んう♡……好きにすればいいだろう」

「くたくたになっでるソーニャちゃん、  
えったくくてカワイイ♡」



(これだけフニャフニャだったらイケるかな?)

「…ソニーちゃん、お股もくすぐってごらん?」

「んっ…♡もう触ってごらん♡」

フリトリスうんっ…♡

くすぐりと摘まむな♡♡くすぐってごらん♡」

「うう…♡ 凄…♡  
キユツと摘んでっババァら、きもちっ♡♡♡」

「ソーニヤちゃん♡  
くすぐりだけじゃなく、  
キモキイイこと自体に弱いんだね♡」



「耳もお♡♡♡  
耳もお…さわってえ♡♡♡」

はあ  
はあ

はあ

くっくっくっ  
くっくっくっ







「お股が大洪水だよ♡  
ソニーちゃん♡  
これでもまだ濡れてないって言うの？♡」



「言っちなよお…♡」

「ソーニヤちゃん♡  
脇腹もキモチイイんでしょ♡」

わぁ

わぁ

「んっ♡  
お腹の奥にキユっ  
て来るんだ♡」



「じゃあ…乳首は？♥  
いやらしくぶっくくり膨らんでる、  
ソーニヤちゃんのお勃起乳首は？♥」

「ギモチイイ！♥♥  
舌先で転がしてくれ！♥♥  
もっと、もっと！♥♥」

にゅ  
にゅ  
にゅ



「じゃあ、両方やっ  
てあげるよ♡  
くっすぐられなが  
らエツチなぐとさ  
られるのが  
いいんでしょ？♡」

「あは♡あは♡あはは♡  
いい、キモチいい♡♡♡  
くすぐられると、  
お腹の奥に響くんだ♡♡♡」

にゅうにゅう  
わさわさわ  
わさわさわ





「だめだめ♡

さっきもくすぐったいのガマニしてたら

気持ちよくなれたでしょ?♡

ガマニしたらもくすぐると気持ちよくなれるよ♡」

「んひひ♡ちがう♡♡♡  
そうじゃなく♡♡♡♡♡

もうイッのガマニできなくなってる♡♡♡  
あ♡♡♡♡♡呼吸も♡腹筋も♡限界♡♡」



ああああああああああ

イクイクイクイクイク

イクウ~~~~~

ブルブル

ブル

ブルブル



「う〜わっ……。  
やりすぎちゃった……。  
目は虚ろにアヘツてるし、  
ピクリとも動かない……。」

「舌とコダシがだらんと垂れたままだし、  
おまんこからはお汁が止まらないし……。  
……これ、ソーニヤちゃんか起きたら、  
ちよっとどろじやなくヤバイんじゃない……。」





五分後





「あっ♡あっ♡あはははははははははは♡♡♡  
おし、おしっ、出ちやっ、た♡♡♡  
くすぐられて漏らしたらタイヘンだって♡  
さっき言ったのに♡♡♡」

ちよろちよろちよろ



「あひやひやひやひやひやひやひやひやひやひや  
ちよっど♡♡♡いっつままで♡♡♡  
止めに来てくれないのぉほほほ♡♡♡」

「ぷめん♡♡♡ソニーチャちゃん♡♡♡ぷめん♡♡♡  
せめて夜までには助けに来てえ♡♡♡  
おしっこで濡れたパニッツが気持ち悪いよう♡♡♡」



「調子に乗ってソーニャちゃんを  
くすくす見るのは、もうぐらぐらだよねー。」



ソーニャ  
ソーニャ

昭和オチ